

平成30年度関西支部第1回例会及び平成30年度四国地区気象研究会											
地区名	開催場所	開催日時									
四国	高知大学 朝倉キャンパス共通教育棟3号館1階311教室	平成30.年12月7日(金)13時20分～17時50分									
【一日目】											
時刻	発表題目	発表者名(所属及び官署)	研究者名(官署)	研究者名(官署)	研究者名(官署)	研究者名(官署)	研究者名(官署)	研究者名(官署)	研究者名(官署)	研究者名(官署)	研究者名(官署)
13:20 ～13:25	開会挨拶	若山 晶彦 (ワカヤマ アキヒコ)	高松地方気象台長 四国地区理事								
13:25 ～13:30	説明事項	芝本 章宏 (シバモト アキヒロ)	高松地方気象台 調査官								
13:30 ～13:50	平成30年7月豪雨における高知県の降水システム	西井 章 (ニシイ アキラ)	高知大学大学院総合 人間自然科学研究科 理学専攻	佐々 浩司 (高知大学理工学部)							
13:50 ～14:10	2018年7月5日から6日に高知県東部で発生した大雨の 事例解析	神野 誠 (コウノ マコト)	高知地方気象台	西森 誠人 (高知地方気象台)	今村 和人 (高知地方気象台)	木村 安志 (高知地方気象台)	山崎 行浩 (高知地方気象台)	山根千佳 (高知地方気象台)	垣内 啓宏 (高知地方気象台)	平原 拓実 (高知地方気象台)	
14:10 ～14:30	平成30年7月豪雨における愛媛県南予地方の大雨の成 因について	一 広志 (ハジメ ヒロシ)	日本気象予報士会四 国支部								
14:30 ～14:50	水蒸気輸送に着目した平成30年7月豪雨における愛媛 県南予地方の大雨の特徴について	一 広志 (ハジメ ヒロシ)	日本気象予報士会四 国支部								
14:50 ～15:00	休憩										
15:00 ～15:20	平成30年7月豪雨(7月7日)について	上山 仁司 (ウエヤマ ヒロシ)	高松地方気象台	吉田 康夫 (高松地方気象台)	坂本 啓 (高松地方気象台)	横田 茂樹 (高松地方気象台)	藤岡 翔太 (高松地方気象台)				
15:20 ～15:40	平成30年7月豪雨(7月8日)について	大迫 重興 (オオサコ シゲオキ)	高松地方気象台	田邊 秀樹 (高松地方気象台)	奥井 久夫 (高松地方気象台)	松下 浩則 (高松地方気象台)					
15:40 ～16:00	JMANHMを用いた平成30年7月豪雨における愛媛県内 の大雨事例解析	林田 和大 (ハヤシダ カズヒロ)	松山地方気象台	田中 信自 (松山地方気象台)							
16:00 ～16:20	漏斗雲と飛散物による竜巻状流れの可視化	野田 稔 (ノダ ミナル)	高知大学教育研究部 自然科学系理工学部 門								
16:20 ～16:30	休憩										
16:30 ～17:50	特別講演 演題:局地気象研究のすすめー「肱川あらし」と「北岩 手波状雲」の事例を中心にー	名越 利幸 教授 (ナゴシロ トシユキ)	岩手大学教育学部理 科教育科								

[illegible]